

「エコシティたかつ」学校流域プロジェクト 環境学習授業実施報告書

実施日時	2012年01月17日(火) 10:45～12:15
実施場所	橘小学校 1階 特別活動室
実施対象	4年生・5クラス・約180名
実施内容	箇条書き等で分かりやすく記入

橘小学校ビオトープ・始めの一步

1 概要

パワーポイント、配布資料「ビオトープって何だろう？」を使用し、「エコシティたかつ」及びビオトープ等についての説明をした。

2 実施内容

10:10	TRネットスタッフ学校入り 準備 ・メダカ、ヤゴ(ギンヤンマ、シオカラトンボ)の用意
10:45	3時限目(1組・2組・3組) ・大型TVを使用し、モニターにパワーポイントを映し、ビオトープ等についての説明 ・説明内容(「エコシティたかつ」、ビオトープとは?、ビオトープの目的、他校の事例紹介 橘小学校のこれから) ・メダカ・ヤゴを回覧
11:30	3時限目授業終了
11:30	4時限目(4組・5組) ・3時限目と同様の内容を実施
12:15	4時限目授業終了 ・第2回授業(放流式)に備え、教頭先生、教務主任、用務員とビオトープの清掃

生物・植物

池のビオトープは確認できた生きもの、蝶のビオトープは植えた植物等を記入

メダカ、ヤゴ(ギンヤンマ、シオカラトンボ)

問題点・気付いた事・その他

1 児童について

- ・全般的に児童は静かに良く聞いていた。
- ・反応が良かった話等
ザリガニの映像、ドジョウを児童が入れてしまったこと(久本小)
ゲンゴロウや、おたまじゃくし、ビオトープに来たこと(西梶ヶ谷小)
草が生い茂りすぎて、池が見えない状態だったこと(南原小)
コイは、何でも食べてしまうこと(高津小)

2 教頭先生のコメント(授業後)

- ・環境学習(「学校流域プロジェクト」以外も含めて)をどのようにカリキュラムに活用するのか
また、これを活用して、ただ児童が見学するだけでなく「自ら学び、自ら考える」ようにさせることが課題である。

3 その他

- ・藁を入手することができたら、田んぼのビオトープに肥料としてまく。



用意した生きもの



事前作業



モニターによる解説①



メダカ・ヤゴの回覧①



モニターによる解説②



メダカ・ヤゴの回覧②



パンフレットの配布



清掃作業